

テーマ
Theme

びわ湖の環境を考える

学校名
School name

草津市立志津南小学校（5年生）

講師等
Lecturer etc.

滋賀大学「環境学習支援士」会

実施日
Date

平成27年6月9日、7月2日

教科等
Subject

総合的な学習の時間

授業
Class

今回は、5年生の「びわ湖フローティングスクール」での体験学習にかかわって、滋賀大学「環境学習支援士」会による事前授業と事後授業が実施されました。

【事前授業】「びわ湖の昔と今」というテーマで、大昔のびわ湖は3つに分かれていたことやびわ湖の汚れのこと、在来魚の話やびわ湖を守る方法など、多岐にわたる話をさせていただきました。講師の方々は、その後、児童たちから次々と出る質問にも丁寧に答えてくださいました。

【事後授業】「びわ湖の未来を考える」というテーマを、カードを使ったワークショップで学びました。カードには「びわ湖でバーベキューをした後、食器を洗う人がいた。」「観光客のマナーが悪い。」など書かれてあり、それに対して、実際にびわ湖で体験学習を行った児童たちが「自分たちはびわ湖に対して何が出来るか？」を話し合い、班ごとに発表しました。「だれが・いつ・どこで・どのように行動するか」を具体的に考え、「家族でバーベキューをした時は、紙皿にして持ち帰り、びわ湖の環境ルールを守る。」「みんなでいろいろな啓発ポスターを書いて、目に触れるところに貼る。」など様々な発表があり、びわ湖や環境への学びもどんどん深まっていました。

感想
Impression

児童の様子 Impression from Children ~先生より~

- 事前授業では、講義後の質問タイムで、たくさんの子もたちが尋ねていました。教室へ戻ると「びわ湖について詳しくなった気がする！」と口にする子もいました。
- 事後授業では、「発表が楽しかった！」という声や「本当にポスター配るの？」という声もあったので、是非、何らかの形で、ここで発表した内容に取り組みたいと思います。

学校より Impression from school

内容はお任せしてしまいましたが、事前の講義は細かい内容もあったので、もう少し絞ってもらえると良かったかなと思いました。しかし、「事前授業→フローティングスクール→事後授業」に分けてほしいという希望も聞いてくださり、大変ありがたかったです。事後授業のワークショップで、「子どもたちが話し合って考え、発表する」姿を見ていて、子どもたちが主体的に学べたことを実感しました。

講師より Impression from lecturer

児童たちはびわ湖の学習が始まったばかりで、事前授業は、クイズや写真・図等を取り入れて分かりやすく見られるように心がけました。内容はもう少し絞ってもよいかと思いましたが、インターネットや本の図表の解説などを見ただけでは理解できない内容も盛り込み、詳しく話しました。児童たちからは、外来魚のことや魚介類の減少のこと、水草の話や沖島の生活等の質問が出され、学習を深めてくれたように思います。

事後授業は、カードを使ったワークショップで、班ごとにびわ湖の問題点について、自分たちで出来ること・出来ないことを話し合いました。そして、その中から一つの問題に絞って、様々な対策や行動等について話し合いました。調べる、知るだけでなく、その問題を解決するには「いつ、どこで、どうするのか」、また「自分たちで何が出来るのか」を真剣に考え、全員が発表に取り組みました。ワークショップのカード方式は、児童たちにとって初めての経験だったようですが、小人数のクラス単位で実施したことで学習がより深まったと感じています。今回の学習をとおして、児童自ら考えたことを、校内放送で呼び掛けたり、校内や自治会などにポスターを貼るなど、児童たちが実際に行動出来るよう学校に支援をお願いしました。